

明日に向かつて

ともに創る ⑬

大船渡市長 戸田公明

市では中学生による

英語検定への挑戦を支援します

市ではこのたび、国際化の進展を踏まえ、中学生による英語検定試験の受験を支援することとしました。

国際交流の共通言語である英語は、今後ますます重要になります。

しかし、最近の新聞報道で、中学校における英語教師と生徒のある一定水準以上の英検取得率についての都道府県比較では岩手県は大きく遅れをとっていることが分かりました。さらに、県の調査で、市内中学生の英語の学力が県平均を上回る一方で、英検3級の取得率が県平均を下回っていることを知り、「これではないけない！」と思いました。

ボランテニアの受け入れ、被災地の高校生・大学生によるアメリカの大学へのサマースクール留学、アメリカとの野球少年交流、アメリカの大学による出張サマースクール交流、三陸国際芸術祭、技能実習制度による外国人研修生の受け入れなど、多くの皆さんが関与しており、市民の国際化マインド・地域の活性化などの面でも大きな効果が生まれています。

今後、国際交流がますます盛んになります。まずは、外国人観光客についてですが、今までは北海道と首都圏以西が主な訪問地でありましたが、今後は東北地方も訪問地にすべく、国をはじめ各地での誘致活動が本格化しています。

英語に遅れをとるといふことは、個人・地域の国際化、ひいては社会の発展に大きくマイナスになります。

大船渡における国際交流をみますと、震災後は相当活発に行われています。最近の事例を挙げますと、アメリカ・イギリス・中国からの国際捜索救助隊の受け入れ、外国人

でも、復興しつつある新たなまちをアピールする時期になりつつあります。外国人観光客・外国客船の受け入れに今まで以上に注力していきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

さらには、国際プロジェクトとして、奥州市・一関市・気仙沼市に至る北上山地を建設候補地とする「国際リニアコライダー（ILC）計画」があります。政府が誘致の決断をすれば、さまざまな国際協力を通じて、十数年後には素粒子物理学の最先端の研究拠点が形成されるものです。その地域には海外からの研究者・家族・技術者などのための新たなまちが生まれ、その周辺部の市町村をはじめ県・東北に、さまざまな国際交流を通じて文明的・文化的な大きな刺激とさらなる国際化をもたらすことでしょう。研究拠点には、科学者、技術者、関係職員などとして、きつと本市出身者も活躍することでしょう。

ですから、今後も早くから英語力を高めておくことが、大変重要になってきます。

中学生の皆さんにはぜひ英検に挑戦の上資格を取得し、自らの将来を切り開く力の一つとなることを心から願っています。

9月17日開催！ 三陸大船渡さんまつり



さんま炭火焼き販売のほか、海の幸が味わえる食堂コーナーや子どもたちが描いた大漁旗コンテストなど内容たっぷりの一日です。大船渡の潮風を感じながら秋を堪能できる「三陸大船渡さんまつり」へぜひお越しください。

▷期日＝9月17日(日)【小雨決行】
▷時間＝午前10時～午後3時

- ▷会場＝大船渡市魚市場
- ▷内容
 - ・さんま炭火焼き販売＝1尾200円、限定2,000尾の販売
 - ・鮮魚・直売コーナー＝新鮮で美味しい旬の魚介類を販売
 - ・食堂コーナー＝さんまのすり身汁や各種グルメの販売
 - ・大漁旗コンテスト＝子どもたちがデザインした大漁旗に投票。東京タワーさんまつりでグランプリが決まります。
 - ・その他、ミニ競り体験やクラフトコーナーなど盛りだくさん！！
- ▷問い合わせ先
三陸大船渡さんまつり実行委員会事務局
【(一社)大船渡市観光物産協会(☎01922)】